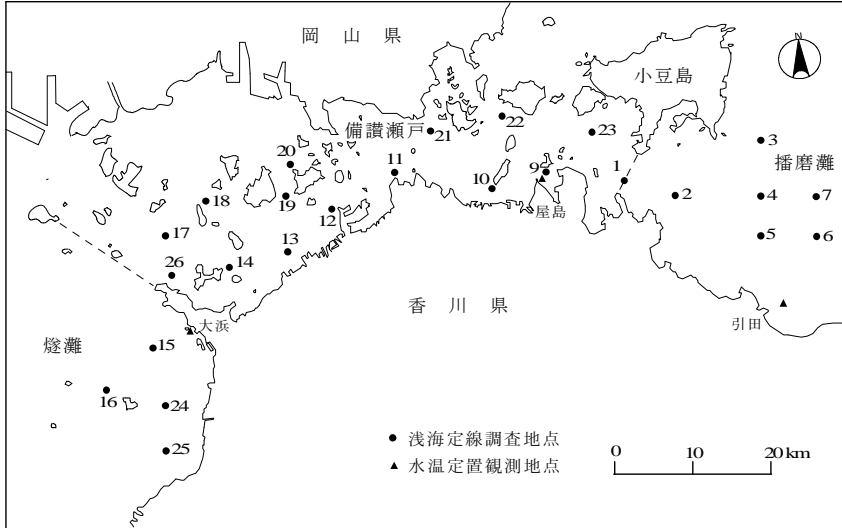


香川県漁海況情報 平成 25 年 2 月 (H24-11 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 25 年 2 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 4 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低め」から「平年並み」、塩分は「やや低め」、透明度は「平年並み」から「かなり高め」、溶存酸素は「平年並み」から「やや高め」であった。

2月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	8.8	8.8	8.5	32.2	32.2	32.3	12.7	6.52	6.35
	平年値	9.4	9.4	9.4	32.7	32.7	32.8	8.9	6.40	6.35
	平年偏差	-0.5	-0.6	-0.8	-0.5	-0.5	-0.5	3.8	0.11	0.01
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	1.0	0.6	0.6	0.6	2.4	0.34	0.32
	状 況	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	かなり高め	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	9.5	9.7	9.7	32.5	32.5	32.5	6.6	6.51	6.50
	平年値	9.4	9.4	9.4	32.9	33.0	33.0	6.1	6.35	6.36
	平年偏差	0.1	0.4	0.3	-0.4	-0.4	-0.4	0.5	0.16	0.14
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.5	0.5	1.8	0.34	0.34
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	8.9	8.9	8.9	32.4	32.7	32.7	7.1	6.75	6.32
	平年値	9.8	9.8	9.8	33.1	33.1	33.2	7.7	6.50	6.44
	平年偏差	-0.9	-0.9	-0.9	-0.6	-0.4	-0.4	-0.6	0.25	-0.12
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.9	0.5	0.5	0.4	2.4	0.37	0.39
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 56 年 (1981) 1 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素: 昭和 56 年 (1981) 2 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

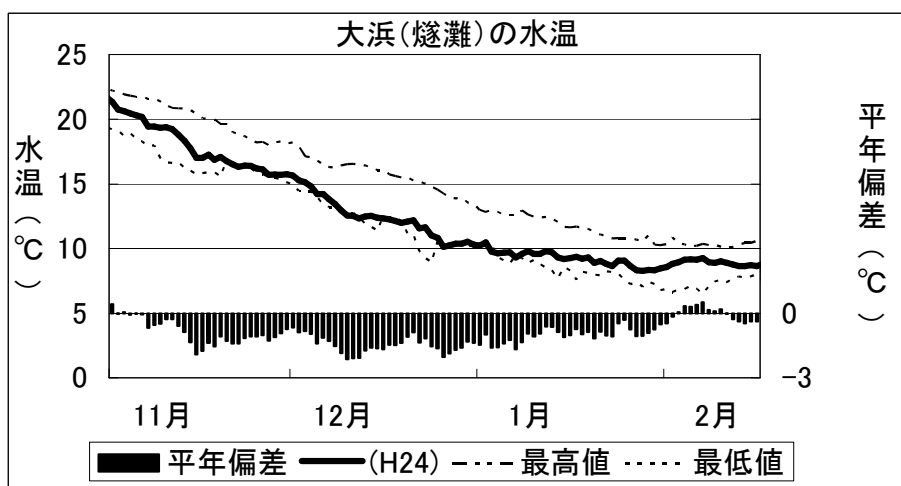
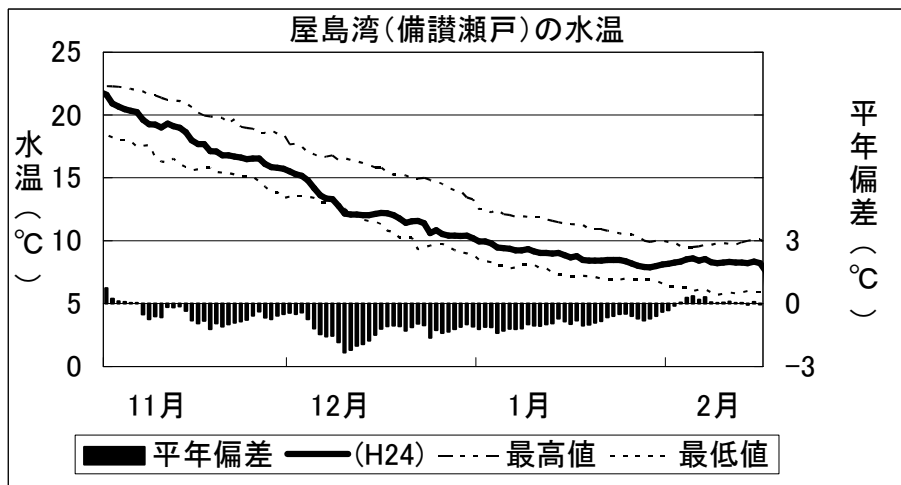
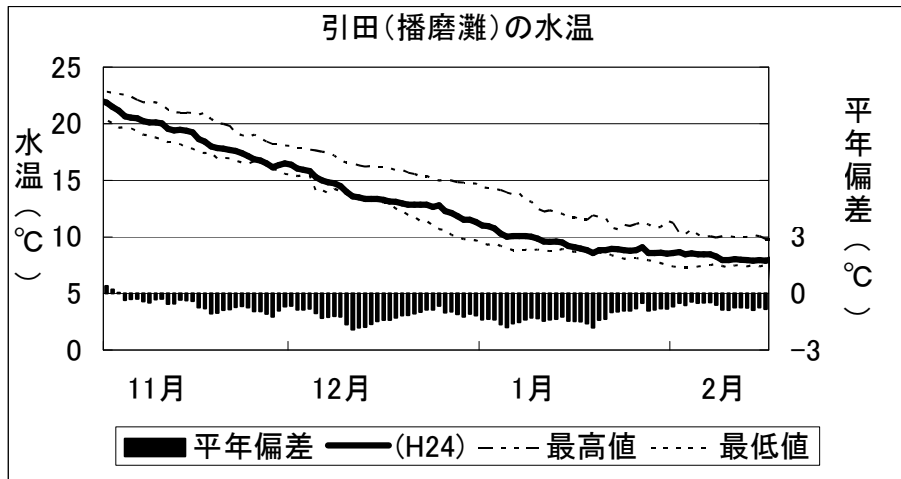
播磨灘 (引田) : 11月は平年並みからかなり低め, 12, 1月はやや低めから著しく低め, 2月はやや低めで推移している。(12月中旬に1日, 1月中旬に1日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 11月は平年並みからやや低め, 12月は平年並みから著しく低めの間で, 1月はやや低め, 2月は平年並みで推移している。(12月初旬に1日, 中旬に2日過去最低値を更新。)

燧灘 (大浜) : 11月は平年並みから著しく低め, 12, 1月はやや低めから著しく低め, 2月は平年並みで推移している。(11月下旬に3日, 12月中旬に7日, 1月初旬に2日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



4) 赤潮 (1月20日～2月19日)

播磨灘：1月21日に播磨灘南西部で *Eucampia zodiacus**による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：発生無し

燧灘：発生無し

**Eucampia zodiacus*は複数調査点で 300 cells/mL以上検出された場合を赤潮発生の基準とした。

5) 卵稚仔

調査日：平成25年2月1日(備讃瀬戸, 燧灘), 4日(播磨灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

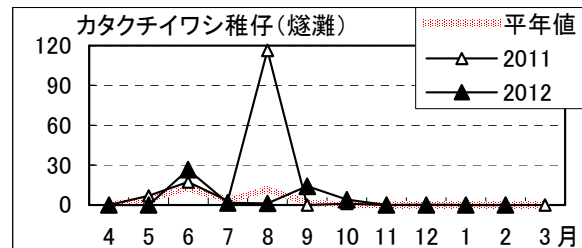
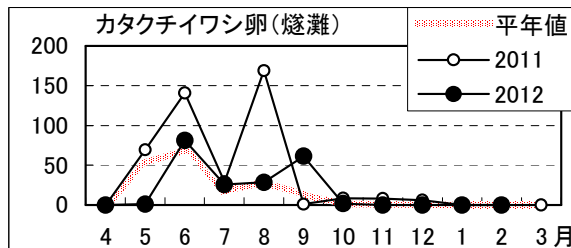
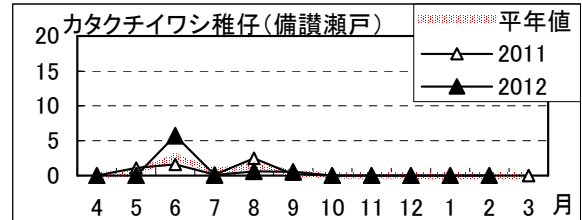
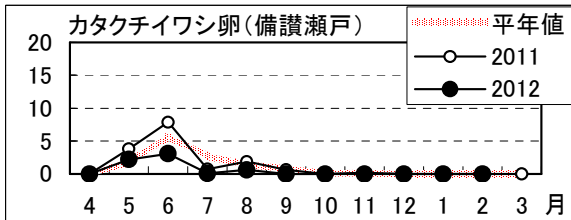
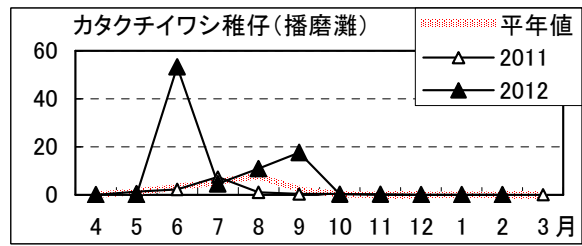
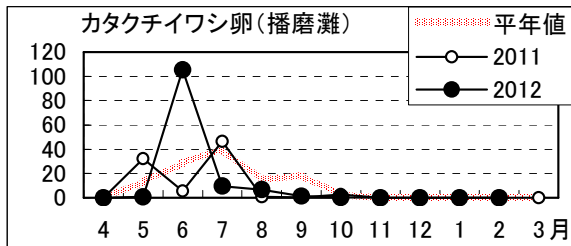
マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	対平年(%)	-	-	-	0.0	-	8.8		
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	対平年(%)	-	-	-	0.0	-	0.0		
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.8		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3
	対平年(%)	-	-	-	0.0	-	16.9		
	平年値	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.5		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
	対平年(%)	0.0	-	-	0.0	-	7.7		
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.6		

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。

*イカナゴの卵は、沈性弱粘着卵のため、プランクトンネットではほとんど採集されません。



平年値は1980年から2011年度の平均

2. 漁況

1) 1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網ではマダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、イイダコ、マアナゴ、スズキ、ヒラメ、小エビ類、アカニシなどが漁獲されている。 建網ではメバル、カサゴ、アイナメ、クロダイなどが漁獲されている。 柵網ではメバル、クロダイ、ウマヅラハギ、カワハギなどが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網ではイイダコ、メイタガレイ、アナゴ、オニオコゼ、ヒラメ、クロダイ、マダイ、スズキ、マゴチなどが漁獲されている。 建網ではマダイ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。
燧 灘	底びき網ではガザミ、イヌノシタ、オニオコゼ、メイタガレイ、シャコ、小エビ類、テンジクダイ、ツメタガイ、シラサエビ、ジンドウイカ類、マゴチ、スズキ、クロダイなどが漁獲されている。

2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。

